

ハンド神森中男女V

八重瀬町長杯

ハンドボールの第6回八重瀬町長杯争奪第31回県中学校秋季大会最終日は4日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われ、男女神森がアベック優勝を果たした。男子は、浦西を24-16で下し5年ぶり9度目、女子は32-16で美東を破り2年ぶり9度目の優勝を飾った。

▽男子準決勝
浦西 33
16 | 17
9 | 11
20 港
川

▽同3位決定
神 森 34
20 | 14
11 | 7
18 宮
里

宮 嶺 36
19 | 17
10 | 16
26 港
川

▽同決勝

神 森 24
11 | 13
8 | 8
16 浦

神	森 24	15 10	10 10	19 浦	添	川 港	川 26	12 14	14 10	24 浦	添
美 東 24	14 10	9 10	19 浦	添	川 港	川 26	12 14	14 10	24 浦	添	
▽同3位決定											
神 森 32	15 17	8 8	16 美	東							



男子決勝・神森一浦西 ディフェンスをかわしシュートを決める神森の具志堅全哉(東風平運動公園体育館(下地広也撮影))

走り徹底 自信に 男子

男子神森は序盤こそ浦西と競り合ったが、徐々にリードを広げ、快勝で優勝を飾った。賞賛監督は「走り

の続けた夏休みの努力が結果につながった。選手たちの自信になったはず」と喜んだ。新入生を含め「技術はあるが、走れない」選手

たちに、走ることを徹底させてきた。仲村和真主将は「これまでやってきたことが出せた。特に試合前に『あたり、戻り、声を出す』に気を付けていけ、と言われたことができた。一丸になって、みんなでカバーしあって、楽しく試合ができた」と満足げ。5得点を挙げたセンターの具志堅全哉は「空いた

ところを見つけて、積極的にシュートが打てた」と自分のプレーを評価。しかし、後半になると大きな声で十分に指示を出せずに、攻撃しやすい形にできなかった。

つたと反省もあった。新チーム船出の大会。仲村主将は「これからも全部勝って、九州や全国も制覇したい」と意気込んだ。(安里真己)

ミス逃さず反撃 女子

女子神森は、堅い守りで、相手のミスを見逃さず、ボールを奪って攻め勝を飾った。

点差が開いてからも、攻撃の手を緩めず圧勝で優勝を飾った。



高良奈歩主将は「3年生が最後の大会で負けた悔しさをバネに頑張った」と喜びをかみしめた。「3年生よ、もっと強いチームにしよう、とやってきた。選手がよくついてきてくれた」と平安山陽一監督も選手をたたえた。

新里日向子は「いつもは入らない」ロングシュートが決まり、チーム最多10得点。「相手ディフェンスが引いていたので、打つていけ、とベンチからの指示通りにやったら入った。自信になった」と笑み。「九州にも全国にも出て、全部優勝したい」。新里も高良主将も、先輩を越えるつもりだ。

女子決勝・神森一美東 力強いロングシュートを決める神森の新里日向子